

北朝鮮人民の生活

-脱北者の手記から読み解く実相-

講師：伊藤亞人さん（東京大学名誉教授・日韓文化交流基金評議員）

日時：2017年10月25日（水）18：30～20：30（開場18：00）

会場：公益財団法人日韓文化交流基金 会議室

参加費：当基金賛助会員及び大学院生以下：無料、非賛助会員：500円

※講演終了後、講師を囲んでの懇談会（ドリンク・軽食付）もごさいます。



50年近く韓国研究に打ち込む文化人類学者が、フィールドワークが出来ない北朝鮮で人類学的研究をするために取った方法は、脱北者に自らの「北」での経験を綴らせた手記をフィールドノートの代わりにすること。その数は450編に及んだ。

国際政治で話題に上がる割に内部の状況が分からない北朝鮮社会は、社会主義公式体制を維持するために膨大な非公式経済によって支えられている実態を確かな情報に基づいて解明する。

【講師紹介】

1943年生まれ。東京大学教養学部卒業後、同大学大学院社会研究科修士。1970年より東京大学助手、助教授、教授を歴任、その後琉球大学や早稲田大学でも教授を務め、現在は東京大学名誉教授。東アジア社会の人類学研究の中でも韓国社会、韓国の農村を中心に社会組織、契、宗教・信仰と儀礼、儒教と教育、歴史観、物質文化、移動と都市化、祝祭と地域振興などに関する現地調査を行う。現在は主として北朝鮮社会における民衆の生活実態について調査研究に取り組んでいる。著作には『読本韓国』（1996年、河出書房新社）、『韓国珍島の民俗紀行』（1999年、青丘文化社）、『韓国夢幻』（2006年、新宿書房）、『文化人類学で読む 日本の民俗社会』（2007年、有斐閣）、『珍島－韓国農村社会の民族誌』（2013年、弘文堂）など。

■お申し込み方法

講演会参加ご希望の場合には、日韓文化交流基金の講演会担当まで、電話もしくはメールにてご連絡ください。ご連絡の際には①お名前、②ご連絡先、③ご所属をお知らせください。

*定員(50名)を超えた場合、早めにお申込みを締切の場合があります。

■お問合せ先：日韓文化交流基金 講演会担当
〒101-0061東京都千代田区三崎町2-21-2
ユニゾ水道橋ビル(リーフスクエア水道橋ビル)5階
TEL.03-6261-6790 / FAX.03-6261-6780
E-mail: lecture@jkcfc.or.jp

